

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 18日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市保土ヶ谷区狩場町65
氏名 トヨタカローラ神奈川株式会社
代表取締役 横田 昇

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	トヨタカローラ神奈川株式会社 代表取締役 横田 昇					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市保土ヶ谷区狩場町65					
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	59 機械器具小売業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	219	台

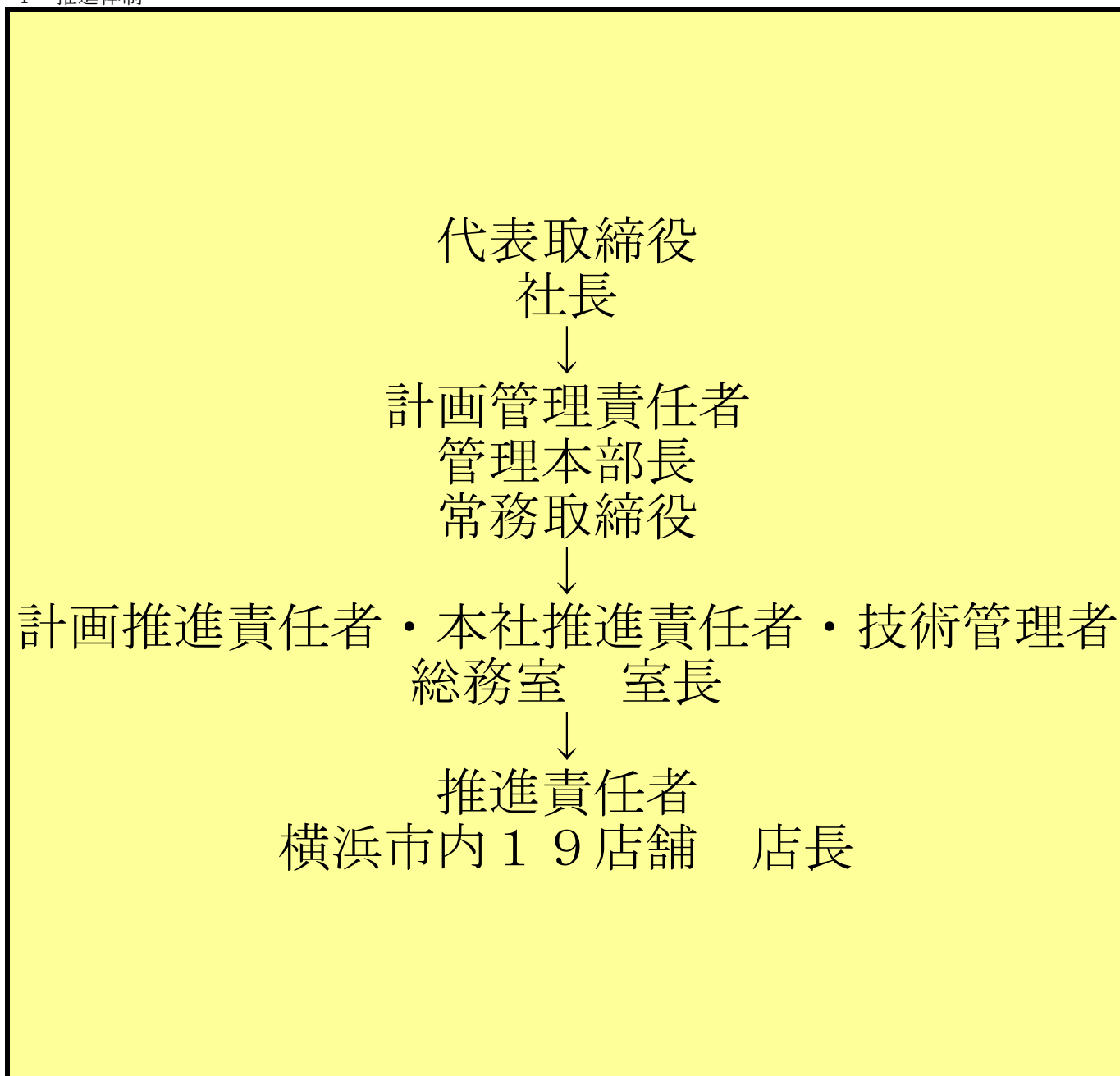
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 弊社は自動車販売を行う自動車ディーラーのため、所有する自動車は販売のための試乗車が大半となり、試乗車については最新の低燃費車やハイブリッド車となる。 よって代替による自動車からの温室効果ガス抑制は出来ないため、事業活動における低燃費車やハイブリッド車の販売促進により自動車による温室効果ガスの排出を抑制していく。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本社 受付
	所在地	横浜市保土ヶ谷区狩場町65
	閲覧可能時間	10:00~17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	185	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	185	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	183	t-CO ₂	削減率	1.1 %	削減率		%		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>弊社では計画期間内に1%の二酸化炭素排出量の削減を目標として計画に取り組んでいく。自動車販売会社である弊社は販売を目的とした新型の低燃費車両を保有する。走行距離が多い業務にはハイブリッド車を中心に使用する事やナビゲーションやETCを有効活用し、運行予定をたて最短距離を走る事で温室効果ガスの排出を抑制していく。</p>									
事業者全体としての目標等										
第一年度 (2016年度)	排出量	384	t-CO ₂	削減率	▲ 107.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	384	t-CO ₂	削減率	▲ 107.6 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	<p>保有する自動車は試乗を目的とする最新車両でハイブリッド車等の低燃費車のため、試乗が増えたことにより二酸化炭素排出量が増加した。</p>									
第二年度 (2017年度)	排出量	263	t-CO ₂	削減率	▲ 42.2 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	263	t-CO ₂	削減率	▲ 42.2 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	<p>車両販売を目的とした試乗も継続的に有り、基準年度以降も排出量は悪化している。</p>									
第三年度 (2018年度)	排出量	170	t-CO ₂	削減率	8.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /		
	調整後	170	t-CO ₂	削減率	8.1 %		削減率		%	
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量としては大きく目標もクリアする事が出来た。しかし、保有する自動車はほとんどが販売を目的として試乗車のため顧客動向にも大きく変動する。結果的には計画年度内で排出量は最も少ない排出量となった。</p>									
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>弊社の保有車両は試乗を目的とした最新の低燃費自動車であり、試乗は自動車販売（事業継続）を行う上で率先して行う。このためCO₂削減に向けた組織的な取組は事業継続とは正反対な活動となる。事業継続のため試乗数の抑制も難しく、各年度で大きくCO₂削減量は変動する結果となった。</p>									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	7	70	7	73	7	49	8	43
小型貨物自動車	3	4	4	5	1	0	0	0
大型バス	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロバス	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用自動車	255	111	264	178	178	59	211	69
合計	265	185	275	256	186	108	219	112
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	2.0	%	159.9	%	164.3	%	77.5	%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	11	室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	12	地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	13	照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度
	15	機器性能管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	17	燃焼設備の空気比管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	18	排出ガス温度の管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	20	工業炉表面の断熱強化	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度
	22	コンプレッサの吸気管理	設備		(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度			(設備の種類)	/	年度

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	19/19	—	年度		実施済	19/19	—	年度		実施済	19/19	—	年度		実施済	19/19	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	—	275/431	2018年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	186/444	2018年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	219/355	2021年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	219/355	2021年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	—	275/431	2018年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	186/444	2018年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	219/355	2021年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施中	—	219/355	2021年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/19	—		保有車両が試乗車のため実施出来ない	未実施	0/19	—	年度	保有車両が試乗車のため実施出来ない	未実施	0/19	—	年度	保有車両が試乗車のため実施出来ない	未実施	0/19	—	年度	保有車両が試乗車のため実施出来ない
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/19	—	2018年度	管理車の移動や頻繁な試乗車の入れ替えに適正な対策推進をとる	実施済	19/19	—	年度	日常点検および運行日誌を作成し維持管理を行った。	実施済	19/19	—	年度		実施済	19/19	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

14 実施状況等に対する自己評価

保有する車両の大半は販売目的の試乗車のため、試乗の制限は会社運営に直結してくる。
CO₂削減については業務で使用する少数車両のエコドライブ等で削減するが全体的なCO₂削減は難しい状況。